

平成二十九年

神奈川造園人 賀詞交換会開催



発行所
一般社団法人
神奈川県造園業協会
横浜市中区常盤町2-10
伸光ビル2階〒231-0014
電話 (045) 662-8793
662-1767
FAX (045) 662-4381
年間購読料 3,150円
(郵送料を含む)
ただし会員の購読料は会費に含まれています。



<http://www.kanagawazoen.or.jp>

神奈川県内の造園・緑地整備に携わる業界人や行政関係者百八十名が参加し「神奈川造園人賀詞交換会」が一月十日、ロイヤルホールヨコハマで開かれた。冒頭、世話人を代表して小山造園業協会会長の挨拶に続き、持田文男神奈川県議会自民党みどりの会会長より力強い励ましの言葉が述べられた。次に、大熊洋二横浜市環境創造局局長より全国都市緑花よこはまフェア開催の紹介がありました。続いて、黒岩祐治神奈川県知事より祝辞が述べられ、最後に、涌井史郎東京都市大学環境学部特別教授の乾杯の発声後懇談に移り、今年一年の期待と近況が語られ和やかに懇談が深まりました。

神奈川県知事

黒岩 祐治



神奈川造園人の賀詞交換会がこの様に盛大に行われ誠におめでとうございませう。

新年を迎えるにあたって新しいスローガンを示唆しました。それは「スマイル溢れる神奈川」を目指して行こうということであります。神奈川県は超高齢社会を乗り越えるために、医療を改善しながら健康寿命を延ばして行こうと訴えてまいりました。新年にあたって

それをどういう形で進めさせようかいろいろ考えたなかで、圧倒的超高齢社会であっても、みんなが笑顔でいられるような社会を目指して行こうということでもあります。その中で、人間とはどんなときどうやって笑顔になるのかを考えたときに、造園業とついているのはすごく大きな力を持っているんだなと本当に感じるところであります。

川崎でコケモモ・ハナモモの生産現場を見せていただき素晴らしい花、その花を受け取った瞬間に思わず「スマイル」が出てまいりました。この造園業の持っているスマイル効果、これを我々ほもつともつと高めたいと思つているところであります。



昨年是非につらい事件が神奈川でありました。津久井やまゆり園で起きた悲惨な事件。障害者はいなくなつた方がいいんだ。とんでもない間違つた考えに基づく事件であります。現在、議会の皆様と相談、議論しながら、「ともに生きる社会かながわ憲章」を取りまとめました。「ともに生きる社会かながわ」とはどういうことなのか、我々が目指しているのは「スマイル溢れる社会」であります。共に生きる社会だからこそみんなが笑いあつてい、障害があるうと関係ない、みんなが笑い合つてい、そんな社会を目指していることを、神奈川県の大きな目標として掲げたい。

神奈川県議会自民党みどりの会 会長 持田文男 並びにみどりの会の皆様

もう3年余りというところにまいりました。ここへ向けて私たちは外国から来て頂ける方々に、この日本の良さ、研究熱心な日本人の良さ、同時に緑を中心としたこの地域の素晴らしさというものを分かち合いたいと思つればいけないと思つ

ております。自民党県議団49人全員がみどりの会に入会していただいております。全員でかながわのみどりの推進に向けて努力してまいりたいとこのように思っております。是非とも皆様方の変りぬぐ指導、力添えを併せて頂きますよう心から申し上げてご挨拶にかえさせていただきます。

横濱市環境創造局 局長 大熊 洋二

3月25日から6月4日まで、全国都市緑化よこはまフェアが開催されます。そのご紹介をさせていただきます。思いを込めて、三月の開花を待つばかりということになつております。市内では、最大級となる1ヘクタールの大ガーデンが見られ、こちらも期待して頂きたいと思っております。

東京都大学環境学部 特別教授 涌井 史郎

皆様方のお力をお借りしながら盛り上げて行きたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

その結果、神奈川・横浜の業界の皆様方の大成功を祈念いたしまして、高らかに会を広げさせて頂きたいと思つています。

「ガーデンネットワークスよこはま」の愛称で、「みなとガーデン」と「里山ガーデン」の二つのメイン会場を設けてございます。

「みなとガーデン」では、山下公園として港の見える丘公園の一体を公園としてそして街路樹のある歩道を使ってやって行こうということでございます。

明けておめでとうございませう。3月25日から6月4日まで、全国都市緑化よこはまフェアが開催されます。そのご紹介をさせていただきます。思いを込めて、三月の開花を待つばかりということになつております。市内では、最大級となる1ヘクタールの大ガーデンが見られ、こちらも期待して頂きたいと思っております。

神奈川県議会議長 持田文男

明けておめでとうございませう。3月25日から6月4日まで、全国都市緑化よこはまフェアが開催されます。そのご紹介をさせていただきます。思いを込めて、三月の開花を待つばかりということになつております。市内では、最大級となる1ヘクタールの大ガーデンが見られ、こちらも期待して頂きたいと思っております。

神奈川県議会議長 持田文男

明けておめでとうございませう。3月25日から6月4日まで、全国都市緑化よこはまフェアが開催されます。そのご紹介をさせていただきます。思いを込めて、三月の開花を待つばかりということになつております。市内では、最大級となる1ヘクタールの大ガーデンが見られ、こちらも期待して頂きたいと思っております。

象の鼻パークでは、企業や団体の方々の出展花壇があり、神奈川県内の造園業の方々が出展されます。「里山ガーデン」では、横浜動物園ズーラシアに隣接して、将来的に大きな植物包圍ができる予定でございますが、その一部を、使つて先行的に整備をいたしました。基本的には、ハーブの整備やいろいろな種ですとか球根などが既に植わつておりまして、三月の開花を待つばかりということになつております。市内では、最大級となる1ヘクタールの大ガーデンが見られ、こちらも期待して頂きたいと思っております。

神奈川県議会議長 持田文男

明けておめでとうございませう。3月25日から6月4日まで、全国都市緑化よこはまフェアが開催されます。そのご紹介をさせていただきます。思いを込めて、三月の開花を待つばかりということになつております。市内では、最大級となる1ヘクタールの大ガーデンが見られ、こちらも期待して頂きたいと思っております。

神奈川県議会議長 持田文男

明けておめでとうございませう。3月25日から6月4日まで、全国都市緑化よこはまフェアが開催されます。そのご紹介をさせていただきます。思いを込めて、三月の開花を待つばかりということになつております。市内では、最大級となる1ヘクタールの大ガーデンが見られ、こちらも期待して頂きたいと思っております。

神奈川県議会議長 持田文男

明けておめでとうございませう。3月25日から6月4日まで、全国都市緑化よこはまフェアが開催されます。そのご紹介をさせていただきます。思いを込めて、三月の開花を待つばかりということになつております。市内では、最大級となる1ヘクタールの大ガーデンが見られ、こちらも期待して頂きたいと思っております。

公園緑地部会活動報告 校庭芝生化プロジェクトチーム 静岡県視察研修会

研修企画委員 富永 淳司

神奈川県造園業協会公園緑地部会・校庭芝生化プロジェクトチームでは、校庭の芝生化に対して神奈川県と他県との意見交換、工事・管理手法の視野の拡大を目的とし平成二十七年に長野県研修会を開催、そして昨年十一月十七日に第二回目となる視察研修会を静岡県で開催。同チームでは十六名での参加で行われた。

当日は、全国でも有数な芝生のプロフェッショナル会社(株)グリーンマスターズ清水 佐野忍社長にご協力

を頂き、同会社が芝生の維持管理を行っている、清水ナショナルトレーニングセンター、清水IAIスタジアム日本平、清水IAIスタジアム日本平、エスパルス三保グラウンド、清水庵原球場などを視察。そして同視察研修会の目的である、興津学園東海幼稚園、静岡市立清水岡小学校の庭園・校庭の芝生化の視察会を行った。

生を実際に手で触れ、佐野社長より管理手法の説明を受けた。また、施設の一部では人工芝を融合させたハイブリッド人工芝などの新技術を試験的に取り入れるなど、芝生化の進歩を垣間見ることができた。

興津学園東海幼稚園、清水市立清水岡小学校での園庭・校庭では一面WOS(ウインターオーバーシード)が行われている芝生を見るのが出来た。その中で私たちが驚かされたことは、WOSをはじめすべて

教育施設では、神奈川県芝生化条件と(小面積・多人数)、静岡県の芝生化条件(大面積・少人数)の違いで管理手法を当てはめることは困難な事かもしれないが、WOSをはじめ同チームでもチャレンジしてみたい事も多くあり、収穫のある研修会となった。

今後、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックが日本で開催される。今まで以上に芝生化への関心が広がっていくと思われる中で、同チームでは芝生化へのさらなる技術・知識のレベルアップを求めていかなければならないと感じた。

この度は、造園技能士コースを受講させて頂き有難うございました。今回の講習でふだん仕事だけでは、経験できない知識や先生方の体験談を聞いて、沢山の事を学ぶことができました。今後の仕事に役立つよう、学んだ事を活かしていきたいと思っております。先生方、事務局の皆様ありがとうございました。



清水ナショナルトレーニングセンター



清水IAIスタジアム日本平



エスパルス三保グラウンドにて



清水庵原球場



興津学園東海幼稚園



清水市立清水岡小学校



内藤委員長挨拶



修了生答辞



(一社)神奈川県造園業協会会長賞授与



今泉講師より訓練総評



職能協共同訓練委員会佐々木副委員長祝辞



講師及び修了生

大変お世話になりました。講師の先生方、造園協会の皆様、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。今後には繋がりたいたいと思っております。

大変お世話になりました。講師の先生方、造園協会の皆様、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。今後には繋がりたいたいと思っております。

造園技能士コースを終えて

平成二十八年年度の「普通職業訓練短期課程造園技能士(1・2級)コースが修了した。

この度は、造園技能士コースを受講させて頂き有難うございました。

この度は、造園技能士コースを受講させて頂き有難うございました。今回の講習でふだん仕事だけでは、経験できない知識や先生方の体験談を聞いて、沢山の事を学ぶことができました。今後の仕事に役立つよう、学んだ事を活かしていきたいと思っております。

この度は、造園技能士コースを受講させて頂き有難うございました。今回の講習でふだん仕事だけでは、経験できない知識や先生方の体験談を聞いて、沢山の事を学ぶことができました。今後の仕事に役立つよう、学んだ事を活かしていきたいと思っております。

協定会議室で開催され、1級3名、2級3名が受講した。修了式が2月25日(土)に行われ、受講生4名に修了証が渡された。

一級受講生 瀨戸 起留
今回、造園技能士の講習を受講させて頂き、正直なところいろいろ勉強になりました。受講してよかったと思っております。

一級受講生 新田 洋平
この度、造園技能士コースを受講させて頂き、とても有意義な時間を過ごせた事に感謝します。

二級受講生 奥谷 公美子
私は、造園業の仕事に就いてまだまだ素人ですが、この度の造園技能士学科講習会に参加させて頂きました。今まで全く聞いた事のない専門用語が数多く出てきてそれを覚え、さらに実際の施工で使用する内容まで理解しないと、現場で活かせないと痛感しました。やはり仕事をやる上では、しっかりと知識を持つて、日々研鑽と経験を積んで、技術と技能を向上させて行く事が、この仕事には必要不可欠であり、技量に直結するものです。

受講生の声
一級受講生 渋谷 智樹

講師の先生の知識や経験が、造園業で頑張っていく世界で、果たしてやって行けるのか、多大な不安が先走りしますが、常に学びの姿勢と謙虚さを忘れる事なく強い気持ちで、腐らず、安全第一、チームワークを大切に仕事をしていきたいと思っております。

今回教えて頂いた事を活かして造園業で頑張っていく世界で、果たしてやって行けるのか、多大な不安が先走りしますが、常に学びの姿勢と謙虚さを忘れる事なく強い気持ちで、腐らず、安全第一、チームワークを大切に仕事をしていきたいと思っております。

今回教えて頂いた事を活かして造園業で頑張っていく世界で、果たしてやって行けるのか、多大な不安が先走りしますが、常に学びの姿勢と謙虚さを忘れる事なく強い気持ちで、腐らず、安全第一、チームワークを大切に仕事をしていきたいと思っております。

庭守活動報告

神奈川県立相模原公園建仁寺垣改修工事

1月21日(土)22日(日)、29日(日)に協会の内部団体である作庭塾「庭守」では神奈川県立相模原公園内にある日本庭園の整備作業を行った。

公園はまだ寒く入園者もまばらであったが梅の花が見頃で早春の香りを漂わせていた。

この庭は作庭塾「庭守(平成19年発足)」が平成25年3月から26年10月にかけて「衆遊の庭」と銘打ち協会創立40周年を記念して作

庭を行ったもので、庭守の活動拠点の一部として継続的に手掛けているものである。

を立て込み、裏胴縁取付と立て子の一部掻き付けまで行い、二日目は10名参加で立て子の掻き付けと押し縁の取り付けまでを行った。

今回の主な作業は公園側からの要請が強かった老朽化した建仁寺垣のやり替えと庭木の剪定作業、痛んだ植栽の植え替えなどである。建仁寺垣は既存が5尺

高だったものを6段胴縁の約30M(約16間)である。初日は10名の参加で既存の竹垣を解体して新規に丸太

を建て込み、裏胴縁取付と立て子の一部掻き付けまで行い、二日目は10名参加で立て子の掻き付けと押し縁の取り付けまでを行った。

普段の仕事もこなしつつ休日返上で作業にいそんでいる会員と講師の方々にいつもながら頭が下がった。

最終日は15名が参加してやり残っている垣根の結びと庭木の剪定作業を手際よく分担して行い、以前に植えたベニシヤリンバイが虫害で痛んでしまったものを

20株ほど植え替え、タチバナモッコク17株やセンリョウなども補植した。剪定は一昨年の9月以来だったので時間を掛けて丁寧に行われ、借景となっている庭園外側の木々にも手を入れていた。新しくなった建仁寺垣と相まって手の入った庭木が生き生きと庭全体を引き立てている。積もっていた落ち葉がきれいに掃除され、埋もれた地被類も顔をだし、公園側から支給された福寿草も植え付けられた。今後も公園を訪れる

人々のやすらぎの空間として年月を重ねていくことだろう。

昨年度(平成28年)の庭守は会員の圃場にて石積み

の研修を数回(6/26、9/11、10/4、10/30、11/13、11/20)に亘り行っていた。そのような陰での努力の成果は3月25日から公開される全国都市緑化よこはまフェアでの展示庭園(象の鼻ゾーン)にも大いに生かされているに違いない。今後も独自の研修・研鑽を積みつつ、相模原公園における管理作業を含め社会貢献も視野に入れた幅広い活動が期待される。

(情報委員：木下 透)



建仁寺垣の改修前



建仁寺垣の改修後



垣根の結びと庭木の剪定作業



垣根の結び作業



剪定、清掃作業



灌木補植



完了



石積みの研修風景

この時の作庭の様子は作庭塾庭守のホームページ <http://niwamori.aikotoba.jp/index.html> 内に活動報告が掲載されているので参照されたい。



第十六回 親睦ゴルフ県大会の開催

第十六回目を迎えた今年初のゴルフ大会は、十一月二十二日、磯子カントリークラブで行なわれました。参加者七十二名。(会員六十八名・みどりの会議員三名・賛助会員一名)

当日は暖かい穏やかな良いお天気の中気持ちよくプレーを楽しんでいました。林とバンカーが精神的プレッシャーになり、スコアも全体的に厳しいものがありました。

優勝は旭支部坂間勝氏、準優勝は川崎支部藤田浩進氏、第三位は港北支部青木治氏が入賞し、栄えあるベストグロス賞はグロス七十六で優勝者旭支部坂間勝氏が受賞いたしました。

今年度は、持田みどりの会会長、嶋村副会長、柳下事務局長にご参加いただき有難う御座いました。(旬細野植産細野さんにお



第16回親睦ゴルフ県大会の開催

願いた沢山の花鉢の香りがパーティ会場を埋め尽くし、また、今回も豪華賞品が多数授与され、華やかな秋の1日となりました。どうぞまた腕を磨いて来年に挑戦して頂きたいと思えます。幹事の皆様有難うございました。

第十九回 横浜マイスターまつり開催される

十一月二十七日(日)に

横浜市民文化センター 横濱マイスター会館で主催横濱マイスター会、横濱市経済局・特定非営利活動法人横濱マイスター友の会共催で開催されました。



第19回横浜マイスターまつり



第19回横浜マイスターまつり

披露することにより、日本人が忘れていた技能をいつの時代にも語り継ぎたいの思いで開催されております。横濱市民文化センター一階にて、当協会の荒川昭男マイスターが黒松の手入れ、剪定実演、刈込鉢の扱い実演と庭に関する小話・石曳きについての講演を行い熱心な質問・相談を受け好評を得た。

平成二十九年度
造園技能検定・実
技講習会・学科講
習会のお知らせ

○技能検定実技講習会

(1・2級)

平成29年7月15日(土)・
16日(日)、平成29年7月
17日(月)・18日(火)

○技能検定実技講習会

(3級)

平成29年7月15日(土)・
17日(月)

○技能検定実技試験

平成29年7月29日(土)、
30日(日)、7月31日(月)
のうちいずれか半日

○技能検定学科講習会

(1・2級)

平成29年8月8日(火)

○技能検定学科試験

平成29年8月20日(日)
(1・2級)、平成29年7
月16日(日)(3級)

○技能検定実技・学科講
習会申込期間

平成29年4月3日(月)～
13日(木) 土日はお休
み

なお、詳細につきまし
ては以下ご案内申しあげ
ます。



●会員名簿の変更●
(平成28年度名簿)

新入会員

- 横須賀支部
尚尾上共同事業部
代表者 谷本政秋
〒240-0104 横須賀市芦名2-24-11
TEL番号 046-856-0456
FAX番号 046-857-6448
緑生
代表者 加藤直樹
〒238-0313 横須賀市武4-8-1
TEL・FAX番号 046-874-6749
- 湘南東支部
株アッシュガーデン
代表者 谷田部淳子
〒253-0087 茅ヶ崎市下町屋3-6-8
TEL番号 0467-88-4563
FAX番号 0467-84-8846

代表者変更

- 港北支部
奈良造園土木株(会員名簿P.25)
代表者 野村直樹→青木洋一
- 緑・北支部
中野園(会員名簿P.29)
代表者 中野幸一→渡邊康史
- 横須賀支部
株緑産業(会員名簿P.51)
代表者 小越勝己→小川栄治
株森崎ガーデン
代表者 石原宏明→石原宏行

住所・支部変更

- 湘南東支部
造園太郎(株)(会員名簿P.53)
〒210-0823 川崎市川崎区江川2-14-17
クリエール石渡二番館201
TEL番号 0467-57-1058
FAX番号 0467-57-1058
湘南東支部から川崎南支部へ変更

住所変更

- 県北支部
パンブーグリーン(会員名簿P.63)
〒246-0025 横浜市瀬谷区阿久和西3-33-11
TEL番号 045-442-8123
FAX番号 045-442-8123

社名変更

- 横浜港南支部(会員名簿P.44)
社名 尚古翠園→古翠園

社名・代表者変更

- 緑・西支部(会員名簿P.28)
社名 前田農園→株前田農園
代表者 前田湯孝→前田晃孝

平成29年度造園技能検定のお知らせ

1. 造園技能検定実施日程

実技試験問題公表 H29年5月24日(水)
*職業能力開発協会でご公表します。受検者には受検票と共に課題(図面)を送付します。
実技作業試験 H29年7月29日(土)～7月31日(月)の内のいずれか半日
学科試験・要素テスト [1・2級] H29年8月20日(日) [3級] H29年7月16日(日)
合格発表 [1・2級] H29年9月29日(金) [3級] H29年8月25日(金)

2. 受検申請

①申請書記入要領 学歴……最終学歴及び学校の所在地・在学期間
職歴……造園関係のみ事業所名・所在地・電話・在職期間・職務内容
*免除資格のある方は、その資格書類のコピーを添付(免除資格は下記の4の③の通り)
②受検手数料(1・2・3級とも)
実技試験……17,900円/ 学科試験……3,100円/ 両免申請……無料

3. 申請書の受付 受付場所……(一社)神奈川県造園業協会事務局 会議室

受付期間……H29年4月3日(月)～13日(木) 9:00～17:00 土日はお休みです
*最終日は混雑しますので早めの提出をお願い致します。申請用紙は事務局に有ります。
申請には受検者の生年月日・現住所・☎・最終学歴・学校所在地・職歴等が必要となります。

4. 申込みに必要なもの

①受検手数料 ②顔写真(縦4cm×横3cm)裏面に作業名(造園)、級別、氏名を明記
して下さい。実技及び学科受検者2枚、一部合格者1枚、両免申請者不要
③資格の有る方は証明書のコピー(一部合格、造園技能士コース、職業訓練指導員等)
*一度納金された受検手数料はお返し出来ません。

5. 実技・学科受検対策講習会等の予定について

*実技講習会(1級・2級)は7月15・16日、17・18日のいずれか2日間2回に分けて、
(3級)は7月15・17日横浜農協きた総合センターで実施の予定、学科講習会(1・2級)
は8月8日(火)にかながわ労働プラザで実施の予定です。(注)受講者の人数等によ
り日時、場所等が変更になることもあります。

6. 受検資格の実務経験については、会報の同封資料をご覧ください。

[照会先]

横浜市中区常盤町2-10 伸光ビル2階 (一社)神奈川県造園業協会
TEL 045-662-8793・1767 FAX 045-662-4381
URL <http://www.kanagawazoen.or.jp>
JR関内駅・地下鉄関内駅より徒歩5分

事務局情報

(月間行事一覧)
●諸会議その他●

3/3 (金)	神造協三役会 12:00～ 支部長会 14:00～
3/6(月)～7(火)	全国都市緑化フェア出展第二期施工
3/7 (火)	情報委員会 15:00～
3/17 (金)	労働保険事務組合理事会 15:00～
3/22 (水)	公園緑地部会 15:00～
3/23 (木)	総務・厚生委員会 15:00～
3/24 (金)	神造協三役会 12:00～ 理事会 14:00～
3/25 (土) ～6/4 (日)	第33回全国都市緑化よこはまフェア開催 (神造協並びに会員多数出展)
5/30 (火)	協同組合総会 11:00～
	日造協神奈川県支部総会 13:00～ 協会総会 15:00～
	かながわのみどりを創り、育てる集い 17:30～

Bridal Banquet Stay Restaurant



ホテル横浜ガーデン

〒231-0023 横浜市中区山下町254番地
お問合せ 045-641-1311
<http://www.yokohamagarden.jp>



鶴見支部講習会

情報委員 前田 陽介

二月十九日(日) 鶴見支部では、年間定例行事である、講習会を行いました。

今回は、近年、公園等の園路などで見かける真砂土

自然土舗装材等の製造、販売、施工を手掛けている、東京福幸(株)様に講師を務めていただきました。様々な舗装材をご紹介いただいた中、一日の講習会の中で施工可能な素材、三種類を一平米ずつご指導のもと実践しました。

まずは、真砂土で出来た透水型の舗装材、「エコグロブシャワー工法」です。こちらは、基本下地として

碎石を五ミリ敷き、転圧(場所によっては下地不要の場合もあります。)ドレイアウト防止の為十分散水し、材料を四ミリの厚さで敷き、木ゴテ等で敷き均します。その後、水をシャワー状にし、数回散布し完成です。

次に、「エコグロブ練り工法」です。こちらは、シャワー工法より手間はかかりませんが、強度は優れて

いるそうです。こちらも碎石を五ミリ敷き、転圧散水し、材料をミキサーで水とよく練り合わせます。その後、まずは二ミリのほど練り合わせた材料を敷き、その上にブルーネットというガラス繊維のメッシュをクラック防止のために敷き

ます。さらに練り合わせた材料をその上に敷き、木ゴテ等で敷き均し完成です。最後は駐車場などに用い

る事の出来る「トースイエコグロブ」です。こちらは、粉体(トースイエコグロブ)と骨材(七号碎石)を水で練り合わせ使用します。まずは、碎石を百ミリ敷き、転圧、散水し、練り合わせた材料を必要強度に

より、六十ミリ〜百五十ミリの厚さで敷き(今回は五十ミリ)、木ゴテ等で敷き均し、木ゴテで仕上げて完成です。枠を組む工程から一時間三十分程で全ての

工程を終える事が出来、乾燥を待つ間、コンクリート下地が必要なため、一日では施工不可能な仕上材、フッコーたたき(耐久性、環境性に優れた、たたき仕上材)、エクセレント(洗い出し工法の小粉化粧石舗装材)について質疑応答

も含め、動画をもとに施工方法を細かなコツ、ポイント等丁寧にご指導をいただきました。その後、枠を外すまでには至りませんでした。

たが、ほぼ乾燥した仕上がりを確認し、講習会を終りました。今回学んだ舗装材においては、現代の住宅等にも幅広く使用出来ると感じました。また、当協会会員の皆様が実際に施工する場合、施工指導に足を運んで下さるとの御言葉もいただきました。(株)万年屋様、東京福

幸(株)様、支部講習会に大変お力添えいただきありがとうございました。



瀧川隆雄支部長より開会挨拶



又キ板で枠を組む



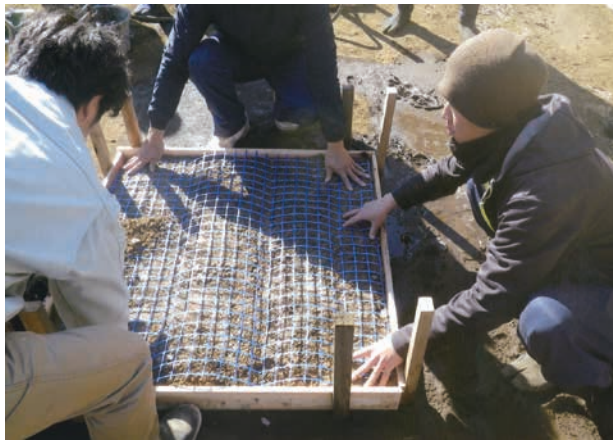
三工法とも碎石を敷き転圧する



〈エコグロブシャワー工法〉木ゴテで仕上げる



〈エコグロブ練り工法〉ミキサーで材と水を練り合わせる



〈エコグロブ練り工法〉ブルーネットを敷く



〈エコグロブ練り工法〉木ゴテで仕上げる



〈トースイエコグロブ〉ミキサーで粉材と骨材と水を練り合わせる



〈トースイエコグロブ〉木ゴテと金ゴテで仕上げる



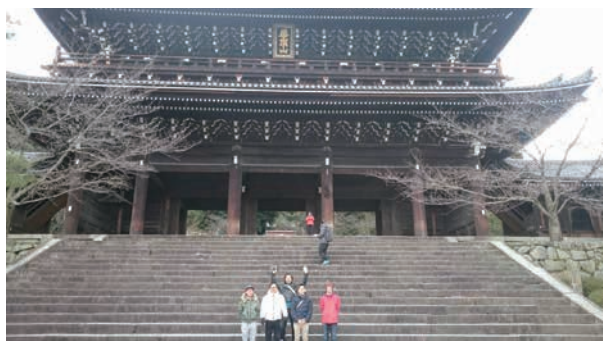
完成品の前で集合

戸塚支部青年部 京都研修旅行 株式会社信栄 加藤 丈陽

戸塚支部青年部では毎年どこに行くかを部員で話し合います。

去年が京都だったのですが、一泊二日では社寺仏閣、庭園を回り切れないうさど、何より部員の「ここにも行ってみたい」と希望が多かったため、今年も京都になりました。

数ある寺院から厳選して向かったのは、俗に鈴虫寺と呼ばれる華厳寺に行き、鈴虫が一年中鳴くように管理しているそうです。鈴虫の音色を聞きながら住職の説法を聞くのですが、話している最中でも音色が邪魔をしません。説法で「美しいものは邪魔をしませんよね。この鈴虫の音色もその一つ。皆さんも美しく生きましよう。」と話され、スツと何かが剥がれた感じがしました。



知恩院



亀甲竹

このお寺さんには日本でも唯一草履を履いたお地藏さまがあります。お地藏さまの前でお守りを両手に挟みお願いをします。珍しいと思ったのが、まず頭の中で名前、住所を言うてからお願いをするようです。草履を履いているので、その住所まで来てお願い事を叶えてくれるそうです。

華厳寺の周りには苔寺と呼ばれる西芳寺があり、西芳寺は予約が必要だったので道路から一面苔に覆われている庭を見ながら地蔵院へ向い、図鑑でしか見たことのない亀甲竹がありました。根元に近い節だけが亀甲甲して、先端部分は普通の竹と変わらなかったのは興味深く思いました。この他に竹林が美しくかつた浄住寺、松尾大社を巡った一日が終わりました。

二日目は小雪がチラチラ舞う中、知恩院に行き、本殿は改修工事の為全景を見る事が出来ませんでした。知恩院は各所にアトバイザーがいて知恩院七不思議、徳川十四代まで位牌が納めてある事や、鶯張りの構造などを詳しく教えていただきました。ここには江戸時代初期に作られた池泉回遊式庭園となっている方丈庭園があります。秋なら紅葉したモミジが綺麗に見えるであろうと想像しながらゆっくりと見ていました。

時間も迫っていました。南禅寺にも足を延ばし、山門やレンガで作られた水路閣、枯山水の方丈庭園、襖絵を見て回りました。方丈庭園は「虎の児渡し」と呼ばれる石組があり、その意図を思い巡らせながら静かな時間を過ごしました。

今回の研修旅行で印象に残ったのは説法で話された「美しいもの」であり、各所を回る中でも「美」を気にしながら見て回れた事ではなから美しく...なるのは難しいと思いますが、少しずつ変わろうと思う旅行でした。今回、京都研修旅行を企画してくれた部員に感謝いたします。

毎年恒例の県央支部の研修旅行、今年は10月23日から25日、島根県へ行ってまいりました。

羽田空港より出雲縁結び空港へ一足飛び、今回の研修メインイベントの足立美術館の庭園を見学しました。「ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデン」の日本庭園ランキングで、およそ1,000ヶ所の名所旧跡を対象にした中、14年連続第1位に輝いた庭園は、ほぼ美術館の建物の中から庭を眺めます。

日照時間が短く、湿度が高い気候に適した「苔庭」は、ゆるやかな曲線を描いた苔の緑と、白砂の白との対比が美しく際立っておりました。

県央支部 島根研修旅行 情報委員 難波 真奈美

この庭園の剪定維持管理を常勤の庭師7名が行っており、常に完璧を目指して日々向上に取り組んでいる姿勢に、庭師の真髄を見せつけられた思いがしました。

この出雲大社では二礼四拍手、一礼が正しい作法とされており、恋愛だけではない、様々な「良いご縁」をたぐり寄せる事ができる神様に、仕事にご縁があるようにと商売繁盛を祈願してまいりました。60年ぶりの大遷宮も終わったご本殿の大屋根は、70万枚もの檜皮(ひわだ)が敷き詰められ、約180坪の面積があり、軒先の厚さは約1mにもなり、見る者を圧倒します。因みに後から分かったことですが、本来は右回りでお参りするところを、左回りでお参りしてしまい、願いが叶うかどうかは本人の行い次第という事で、一同大笑いとなりました。

翌日は、縁結びの神様として知られる出雲大社をお参りしました。参道入り口の鳥居をくぐると、お社へ続く参道は樹齢400年のクロマツ並木。

お昼は、名物の出雲そばを頂きました。もみじおろしと刻み葱を葉味に冷たいつゆの入った出雲そばに満足して、次の目的地の松江城に向いました。

1607年に築城された松江城は、2015年には国宝に指定され、全国に現存する12天守の中でも貴重な建造物として残っておりまます。特に石垣は、「野面積み」と「打ち込み接(はぎ)」によるものからなり、築城当時の姿のまま残っており圧倒されました。石垣の築成は、「穴太衆(あなうしゅう)」が行ったそう

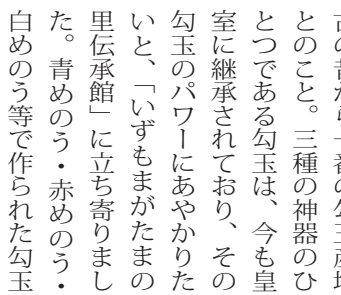
です。つづいて、城の周りの城下町にある数寄屋造りの茶室「明々庵」の庭を見学し、二日目の研修は終了となりました。



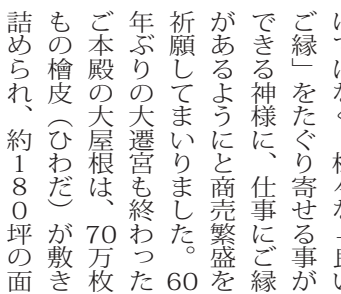
足立美術館「苔庭」



足立美術館「枯山水庭」



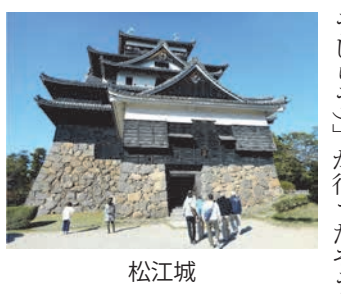
「生の額絵」



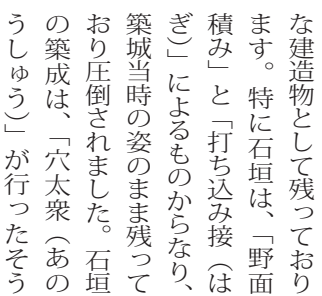
クロマツ並木



出雲大社・本殿



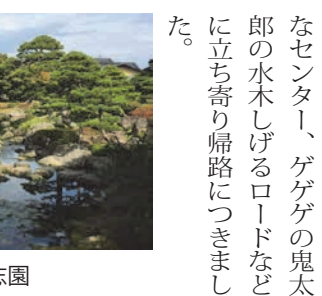
松江城



出雲そば



由志園



明々庵

今回、訪れた島根県は、素晴らしい庭園が多く、充実した研修が行われた3日間でした。

第33回全国都市緑化 よこはまフェア開催



イメージスケッチ

来る3月25日(土)から6月4日(日)、横浜市内において第33回全国都市緑化よこはまフェアが開催されます。みなとガーデン(都心臨海部会場)と里山ガーデン(郊外部会場)の二会場を中心にパートナー会場を含め市内各地でイベントが催されます。当協会ではみなとガーデンエリアの象の鼻パーク内「もてなしの庭」エリアに庭園を出展します。「自然との調和」「一滴の水から」と題し庭園部会と教育研修委員会が中心となって、設計・施工を進めてきました。「植物や岩石を通って雨が浄化され、ひとしずくの清らかな水となつて始まつていく自然の循環。はるか昔からのその営みに感謝と畏敬を込め日本庭園の伝統技術を融合させ、庭を通して自然の美しさと大切さを表現」したというこの庭園について、渡部定男庭園部会長に聞きました。

■この庭園を通じて来場者に伝えたいこと、デザインのコンプトを教えてください。

■フェアに出展することが決まって完成するまで期間も短くて大変だったと思うのですが。

「自然との調和」「一滴の水から」というタイトルの通り、まず一つは植物の大切さ、自然の大切さを訴えたかったのです。人間も他の生物も植物が光合成によつて酸素をつくってくれているからこそ生きていられる。それにもかかわらず人間は植物をながいがしろにして生きている。森林を伐採し、自然環境を壊して生活している。植物が存在する環境は多様な植物がそろつてはじめて生態系を成すのです。そこに雨が降り、地中を通つて川となつて海に流れ、海の生態系が成り立つていく。この庭にはそんな自然の営みを凝縮し、表現しました。もう一つ、このエリア

は「もてなしの庭」がテーマなので来場者の方が癒やされる庭をつくってみようと思ひました。庭を見ることで清らかな気持ちになれるような。例えば落葉樹を使つて四季感を感じられるように、新緑の時期は特に美しいと思ひます。また花も多く使つていてスタートの頃よりも4月から5月が見頃かもしれません。植物だけでなく石組も見てもらいたいです。山に降つた雨が絞りと水となつて出てくる様子を石組で表現しています。水滴が水鉢に落ちる音を聞いたり「ほこら」と呼んでいる石組の中には照明が組み込まれていたり夜も楽しめるようになっていきます。石組は庭造りの伝統技術でありますし、庭守が練習してきたものをここで発揮できることもよい機会だと思ひます。飛び石、延段、石組など技術をアピールできる機会になりました。

■会場は色々制約もあつたと思ひますが、苦労したことなどありますか。

一度来て、「もう一度来たいなあ」と思つて頂ける

■来場者にここを見て欲しい、アピールポイントはありますか。

また、今回多くの当協会員も出展しています。通常の業務の合間を縫つての作業となり苦労も多かったと思ひますが、アピールポイント

■会場は色々制約もあつたと思ひますが、苦労したことなどありますか。

所々に復元しました。天候も心配だったし車両の重量制限もあつて作業期間の5日間です。メンバが忙しい中10~15人参加してくれたので作業は予想以上に

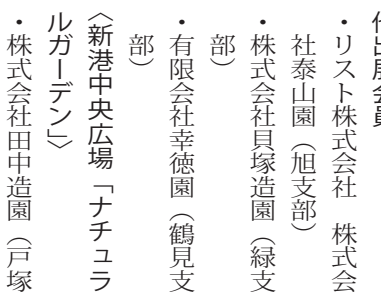
一度来て、「もう一度来たいなあ」と思つて頂ける

■来場者にここを見て欲しい、アピールポイントはありますか。

また、今回多くの当協会員も出展しています。通常の業務の合間を縫つての作業となり苦労も多かったと思ひますが、アピールポイント

■会場は色々制約もあつたと思ひますが、苦労したことなどありますか。

■会場は色々制約もあつたと思ひますが、苦労したことなどありますか。



女性がより活躍できる造園業界を目指して ～国の取り組みと現状について～

神奈川県造園業協会 情報委員会 犬山清史・濱島千歳・七澤久信



情報委員会では2016年3月より3号続けて「女性が造園業界でより活躍できるためには」をテーマに特集を組んできました。第255号では現場で働く女性による座談会から生の声を聞き、第256号では当協会に女性就労状況の実態調査のためのアンケート調査を実施しました。第257号では女性造園士の一日を取材し、その仕事ぶりに密着しました。こうした取材から建設分野において比較的女性が多いと言われる造園業界においても女性が活躍する場が少ないことや雇用する側と雇用される側の意識にギャップがあることがわかりました。

現場が頑張る一方、業界全体の流れが女性活躍に向かないと改善されないというのにも確かです。公共・民間関係なく発注者の理解やサポートする制度も必要と感じます。そこで今回は国の取り組みとその現状について国土交通省土地・建設産業局に話を聞くことが出来ました。

■建設業における女性の就労状況の現状について教えてください。
国土交通省では「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」(H26)を策定し、これに向けて官民一体となつて事業を展開しています。総務省の労働力調査によるとH9年にピークだった建設業での女性就業者数は26万人、H26では10万人まで減少しています。これを5年間で倍の20万人(女性技術者2万人+女性技能者18万人)に増やすことを目標としています。(図1)

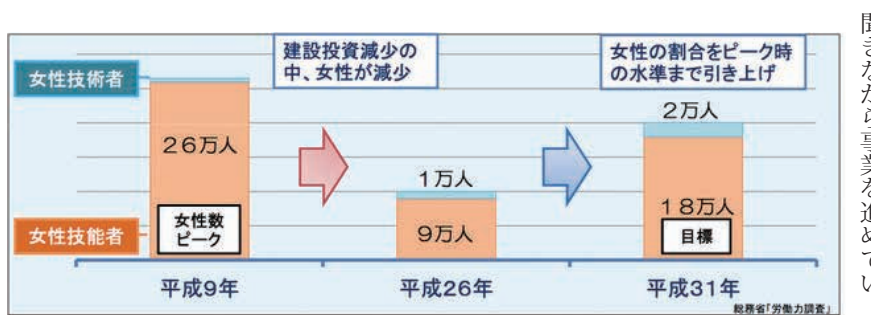


図1

○直轄工事での取組 ・女性活躍モデル工事の実施 H26より全国各地で、女性技術者の登用を促すモデル工事を公告・実施 ※H26年度:12件、H27年度:16件 ・快適トイレの標準仕様を決定し、事例集を公表 (H28年9月) ・快適トイレの設置を原則化 (H28年10月以降入札工事より) ※これまでの設置モデル工事:約300件 快適トイレの例	○地域ぐるみでの女性活躍推進(H27予算事業) 行政・団体・企業等が地域で連携し、協働で女性活躍を応援する活動を支援 (H27年度:全国12箇所を支援) 「ふるさと建設業イメージアッププロジェクト」による女性活躍の啓発	○次世代を担う女性リーダー層に向けた研修を実施予定(H28年度予算事業) ロールモデルとなる女性や、経営者向けの建設業に特化した研修を実施 ○活躍する女性を表彰 建設マスター等で業界で活躍する女性を表彰 (H26年度:5人⇒H27年度:13人)
○実態調査・好事例の水平展開 ・建設業での女性活躍に関する各企業の意識・取組状況について、初の実態調査を実施 (H27.12) ・先進企業における取組を取材し、好事例をとりまとめ、水平展開 (H27.10) 建設業実態調査の調査(ケーススタディ)の例	○多方面からの戦略的広報の実施 ・ポータルサイト「建設産業で働く女性がカッコいい!」創設・情報更新 ※H26.10～H28.7末までのアクセス数:約123,900件 →52社を掲載 女性活躍の推進企業コンテンツ →52社を掲載 ・広報紙「国土交通」での情報発信 ・子供読者向け見学ツアーで、活躍中の女性が魅力をPR 国土交通 (H27.7月号) こども読者向けツアー(028.7) ・建設業で活躍する女性による大臣表彰 ※地域や現場での取組を報告 し、建設業イメージアップ委員会 (H27.11) 建設業「けんせつ」の副編集長(副編集長)受賞者 (H28.3)	

図2

また、全国での調査ですが、建設業全体における女性就業者の割合は経理・事務員、経営などいわゆるホワイトカラーを含めて15%という結果があります。これは神奈川県造園業協会のアンケート調査結果の18%(公報第256号参照)とも近い数字と思われま

るといふ意味で「地域ぐるみで女性の活躍推進」を進めています。水平展開していきたいなどということでは事例をとりまとめ情報発信しています。今年度は各地でセミナー、研修会を開催しています。また快適トイレ設置のモデル事業をすすめています。都市部ではコンビニやビルのトイレが使えますが女性が働く環境としては大切です。直轄工事だけではなく来年度はすべて原則化するという動きです。(図2)

■今後、建設業界で女性が活躍するにあたっての課題は何だと感じていますか。
建設業の魅力がアピールするため小学校にキャリアバンに行つて左官や塗装を体験してもらおうのですが、アンケートをしてみるとイ

メージはいいです。少なくとも悪いということはないのですがなぜあるときに悪いイメージがついてしまうのか。これは女性、男性関係なく世間のイメージを変えていくことも必要と感じています。その中でも働きたいという人が来たら受け入れを拒まないようにしなければいけません。政府もまさに今、働き方改革を進めています。建設現場の仕事は夕方五時から六時には終わることが出来るので徹夜で深夜残業することもなく、ワークライフバランスの点では有利です。給料が高い方がいいということもあるかもしれませんが時間が当たりの賃金に換算すれば悪く

情報委員から

当日は建設市場整備課の大島久幸課長補佐と塩崎雄企画係長、お二人に対応頂きました。国の施策を説明するだけでなく、この機会に造園業界の意見も是非聞かせて欲しいとのこともあり、会報で特集した座談会やアンケート結果を踏まえながら有意義な意見交換が出来ました。

なお、「もっと女性が活躍できる建設業へ向けた取組について」は国土交通省ホームページ http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_tk1_000088.html に掲載されています。

ないということになれば競争力が出てくるのではないのでしょうか。
求人という点でも、今は工業高校卒業の学生にハローワーク経由でアプローチするのが一般的になってきているのですが、大卒の学生に例えばマイナビやリクナビのような就職サイトを通じて求人を出してもいいのではないのでしょうか。